



研究部会報告

●最適化とその周辺●

●第3回

日時：6月5日(金) 14:00~17:00 出席者：18名

場所：京大会館105号室

テーマと講師：

「大規模計算におけるデータ転送の最適化」津田孝夫(京都大学) 拡張記憶と主記憶でデータ交換しながら實際上 compute-bound にして vector 性能で大規模計算を行なう方法の解説とそのFFTおよびLU分解への応用例が示された。

「ダイヤ作成への人工知能手法の応用」佐野 弘(近鉄・技術研究所) 現在、同社で開発中の列車ダイヤ作成システムについて、問題の表現法、知識利用の方法、推論(探索)の方法などの説明、この方法を用いて作成されたダイヤの紹介がなされた。

●待ち行列●

●第35回

日時：1987年6月20日(土) 14:00~17:00

場所：東京工業大学情報科学科会議室 出席者：20名

テーマと講師：

●Q35-1 処理方式が異なる2つの待ち行列を持つ単一サーバーモデルの解析(小沢利久・NTT通研) 全処理式, Gate 式, K-制限式を組み合わせた待ち行列の平均待ち時間分布を部分マルコフ過程を用いて求めた。

●Q35-2 An Approximate Analysis of the Input Buffer Limits in Homogeneous Networks (小野里好邦・電通大) 入力バッファ制御法について検討した。

●DP●

日時：6月23日(火) 18:00~20:00

場所：日科技連 出席者：5名

発表：「ベトリネット表現によるシステムの物理的な変化と情報の流れについて」菅沢喜男(日大生産工学部)

システムの信号あるいは情報の流れを抽象化し、簡潔に表現できる記述方法としてベトリネットがある。さらにシステムをベトリネットで表現してシステムの構造的な特性を明らかにすることができる。ここではベトリネット表現により、「取替えを考慮した信頼性システムのモデル化と信頼度解析」と「ロボットとコンベアの協調動作」とを述べた。

編集後記▶関東地方は何十年ぶりの水不足に頭を悩ませている夏となっています。まだまだうだるような暑さが続きそうです。朝早くふと庭をながめると朝顔の花がすがすがしい感じを与えて咲いているのが目にはいった。

「あけぬればくるものとはしら露の命に咲か朝顔の花」(仙厓)の句を思いだしつつ、朝顔のように世の無常を受けとめそのなかでも一生懸命生きたい、と忙しさのなかでの一時を感傷にふけっている▶さて8月号は「本四架橋」の特集を企画いたしました。本四架橋は近い将来わが国の社会、経済、技術等に多大の影響を与え

るでしょう。それらの影響を中国・四国地方のそれぞれの立場、さらに本四架橋全体の立場からの分析・評価を紹介し、いろいろな視点でこの世紀の大プロジェクトを会員の皆様と考えてみたいと思います▶8月9日~8月13日はアルゼンチンでIFORS(国際OR学会連合会)の国際会議が開催されます。主題はOR-Supporting Decisions around the World であり、意思決定とORとの関係があらためて論じられ、ORのより一層の発展に役立つだろうと楽しみにしています。(Y)

オペレーションズ・リサーチ

昭和62年8月号 第32巻 第8号 通巻320号

代表者 吉山博吉

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル
(電話 03-815-3351~2) 〒113

編集人 山田善靖

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 850円(郵送料含) 年間予約購読料 9800円(郵送料含)

●本誌への広告お申し込みは明報社(571-2548)、日経弘報社(583-2241)へ